

・身体障害者利便のために、2016年度の進用開始を「緩和ケア病棟」について、病院敷地内に独らかにし3階は念着手する。病院南西場に建設し

八 青森

八戸市立日、ICTを活用し、を県内の医るネット「あおもりに」に参加かにした。下旬にシスえ、17年度用を開始すあおもりトは、青森7月に運用同意を得た

「2016年小中学生のための進学情報展 in 八戸」開催ご案内

開催日：2016年12月4日(日)
掲載日：2016年11月22日(火) / デーリー東北新聞

整備を巡っては、関係団体や市民団体の代表者らでつくる「緩和ケア病棟整備検討会」が、今年3月に設備などに関する報告書を三浦院長に提出した。緩和ケア病棟の機能については、20床程度を確保する予定。延べ床面積は6千平方

市民病院参加へ

17年度運用開始

院の情報共有ネット

療機関同士が投薬や注、検査画像などの診療情報を共有する。

市民病院のシステム導入は4352万4千円。県域医療情報共有システム整備補助を活用するとい

三浦院長は「緩和ケア病棟は、生活空間のような場所を備えなければならぬ。がん患者の痛みや心の問題に対して、本体の病棟と違うような医療の提供ができる」と強調した。

も加わる方向だという。県医療業務課は「これまで

青森県高校入試 最新情報を提供

八戸で来月4日 進学情報展

八戸市の進学塾「志学塾」は12月4日、市内の「友の会福祉会館」で、小中学生のための進学情報展を開く。青森県内の各高校に合格するための学力の目安に関する解説など、高校入試

では津軽地域の医療機関が多かったが、八戸市民病院が情報提供機関に加わることで、ほぼ全県がカバーできる。多くの情報を共有することで、効果的で安心安全な医療につながる」と歓迎した。

(渡部優、三浦典子)

に関する最新の情報を提供する。

時間は午後1時半〜4時半まで。入試解説は1時40分と3時半からの2回。県内外8校の私立高などのブースも設け、受験情報を提供。個別に対応する進路相談コーナーもある。小中学生や保護者が対象で、入場無料。個別進路相談は事前予約が必要。問い

5人 日常的な残

日常的に残業している人の5人に1人が「精神面で不調を感じた」と訴えていることが21日、日本能率協会(東京)による「仕事と健康に関する意識調査」で分かった。

調査は7〜非正規で働く女性にインタビュー、千人が回答、千人が回答。日常的に残業は514人。

担当者は「意欲の低下やすぐ落ち込んでしまう状態になると仕事の効率が落ち、長期化すればうつ病といった精神疾患になる恐れがある」として、業務などを見直す必要があると指摘している。

「精神面で不調」が18・9%だった。その時間が減ったが最多で、2

合わせは志学塾 電話0178(47)2225へ。

松館児童館を

旧松館小に移転

八戸市、来月24日から

八戸市は12月24日、松館児童館(同市松館古里)を旧市立松館小(同市松館門前)の1階に移転させる。本月開会予定の市議会定例

云に、移転に正案を提案する児童館は老閉校した際、移転に関する旧校舎の活用を決定。冬時期に合わせるとにした。